

# まちたん ～まちのお宝探検隊～

## 後世に伝えたい宝物

### 一之宮地域の巨樹巨木

日本海と太平洋にそそぐ「分水嶺」のある一之宮地域には、数多くの巨樹巨木があります。巨樹巨木の定義はさまざまですが、環境省が行う「自然環境保全基礎調査」巨樹・巨木林調査では、地上1.3メートルの高さで幹の周りを計測し、それが3メートル以上の木を原則として「巨樹巨木」とみなしています。

同調査によると、一之宮地域にはあわせて80前後あることが分かっています。ここでは、それらの中でも代表的な3つを紹介します。

### ■臥龍桜

JR飛驒一ノ宮駅裏手に位置する大幢寺のそばにあるエドヒガンの大樹で、国の天然記念物に指定されています。一之宮地域のシンボリックな存在で、昔から住民に愛されてきました。幹周りは約7.3メートル、樹高は約17メートル、推定樹齢はおよそ1100年で、枝張り約30メートルに及びます。一見2本の木にも見えますが、これは昭和初期に、正面から



見て左に伸びた大枝が、その重みで地面に着き、そこから発根したためです。

「臥龍桜」の名は、その幹や枝の姿があたかも龍が臥したようであることから、大幢寺の道仙和尚が昭和7年に名付けたといわれています。昭和34年の伊勢湾台風や平成3年の台風19号で臥龍桜は大きな被害を受けましたが、関係機関や樹木医、当時の村民などの尽力で、そのたびに樹勢を回復してきました。今でも、毎年4月中下旬には淡いピンクの美

しい花を二面に咲かせ、人々の心を和ませてくれます。

### ■宮の大イチイ

宮川の源流は、位山三山（位山川<sup>かおれたけ</sup>・船山<sup>いながま</sup>）のうち、最も高い川上岳（標高1625.9メートル）にあります。その源流域にある「ツメタ谷」と呼ばれる谷の中ほど、標高約1100メートルの斜面に立つのが「宮の大イチイ」です。別名「ツメタの大イチイ」で、市の天然記念物に指定されています。推定樹齢はおよそ2000年、幹周りは約6.9メートル、樹高は約25メートルで、イチイとしては日本国内でも最大・最古級といわれています。

高山市の木にも指定されているイチイは常緑針葉樹で、一般的なものは10から15メートルの高さに成長します。イチイの年輪は1年で1ミリメートル程度とされ、その成長速度



は大変にゆるやかです。

### ■飛驒一宮水無神社の大杉

飛驒国の一宮として、初詣や「飛驒生きびな祭」などで知られる飛驒宮水無神社。その正面入口の鳥居わきには、参拝客を待ち構えるかのように、大きなスギがそびえ立ちます。

このスギは一之宮地域では最大のもので、樹高は約45メートル、幹周りは約6.5メートルで、県の天然記念物に指定されています。推定樹齢は800年余りで、訪れる人々へ歴史を語りつづけています。



### ◎参考文献

『宮村の巨木―森の巨人たちを訪ねて―』（平成16年3月 岐阜県宮村発行）  
『宮村の文化財』（平成11年3月 宮村教育委員会発行）

トワイライト・オン キャンペーン実施中！  
10月は車両ライトを16：30頃に点灯させましょう。